

本島コミュニティセンター市長懇談会

- 日 時：平成 30 年 8 月 20 日（月） 12：40～13：35
- 場 所：本島コミュニティセンター
- 参加者：18 名
- 担当者：市長

小松（本島市民センター）、松下（健康課）、山田（離島振興室長）

1. 白井会長あいさつ

皆さんこんにちは。今日は梶市長と直接お話ができる貴重な限られた時間ですのでさっそく始めたいと思う。よろしくお願いします。

2. 市長あいさつ

皆さんこんにちは。毎年こういった形でコミュニティ毎に開催させていただいている。私にとって、また市の行政にとっても非常に貴重な機会である。本島の地域づくりをどういう方向で進めるのかを我々がしっかり受け止め、政策に反映していく、非常に貴重な機会なので、いろいろなご意見をいただければありがたい。本島の課題について、皆さんから積極的な意見交換をしていただき、明るい本島の未来が描けるようにやっていきたいと思っている。よろしくお願いします。

（第二次総合計画について）

合併した時に丸亀市総合計画を 10 年計画で作った。平成 28 年度で 10 年経過したので新しく 8 年計画の第二次総合計画を策定した。基本的な方向は変わっていない。我々の暮らしがいかに充実したものになるかということに重点を置き作っている。全体目標は「豊かで暮らしやすいまち丸亀」を目指すというスローガンに 5 つの大きい柱を作った。1 つは子育てしやすい環境を整えていく、2 つ目は災害等があった場合や日常生活の中でも安心・安全に生活できるまちづくりをしていく、3 つ目は産業の活性化を図る。引き続き企業の活動を支援する、4 つ目は高齢者を中心に元気に健康に過ごせるまちづくりをする、5 つ目はコミュニティを中心にしながら市民皆がまちづくりに参加していただきたい、いかに効率的に地域の人達が生きがいを持って地域づくりに参加してもらえるかというのがポイントになる。コミュニティ活動に地域の力を結集していきたい。それぞれの地域で特

色のある地域づくりができるよう応援していき、豊かで暮らしやすい丸亀にしようというのがこの計画の内容である。

(都市計画マスタープラン)

これは20年の長い計画で、計画してから10年経過したので中間見直しを行なった。主に建物や土地利用というハード面が中心になる。今までの方向と変わることはない。合併後の市の中心部、駅周辺やお城周辺を中心市街地と設定した。中心市街地とそれぞれの地域を結ぶ交通ネットワークを作っていくということを強調している。島では、離島航路の問題と島内のバスあるいはデマンドタクシーといった新しい移動手段が課題になると思う。それぞれの計画に従いながら全体的として我々の生活をいいものにしていこうと考えている。

3. 懸案事項

①高速通信回線の整備について

(男性)

高速通信回線の整備について、毎回懇談会の時にご要望させていただいている。今後の島の活性化また毎日の生活においてもその必要性が増大しており、島民また観光にこられる方にとっても重要なツールとなっているように思う。昨年度は実現可能な方法を通信事業者の方と検討するということがあった。その後の状況と今後の見通しについてお示しただくと共にまた早い整備を要望したい。

(市長)

私としてもできる限り早く全部の光回線を通じたインターネット環境を作りたいと思っている。去年も本当に具体的な予算要求をする直前までの煮詰めをしていたが、補助金抜きで整備した場合に採算がとれるという保証がないということで会社の上層部からなかなか許可がでなかった。そういったこともあり、引き続き検討している。その事業者以外にも声をかけながら進めており、光回線をひく場合、事業者は、ある程度利用していただきたいという考え方なので、例えばテレビを観る、防災行政無線などの機能が付いたようなサービスというのを選ぶのがいいのではないかと考えており、協議を進めている。急いでやらなければならない課題だと認識しているので、できる限り早く進めてまいりたいと思っている。去年と進んでない、現状としては進んでないが、いろいろな手段を検討し、実現可能なところに後一步いうところだと思う。引き続きご協力よろしくお願ひしたい。

②今後の診療所と本島中学校跡地利用の見通しについて

(白井会長)

2点あるが、まず1点目。本島診療所の林先生が今年度いっぱい辞めると聞き、みんな心配しているが、その辺りの見通しについて教えて欲しい。もう1点。2年後、中学校が小学校の方へ統合されるということを聞いている。中学校があくのでコミュニティセンター兼診療所のような整備が可能かどうか。整備の見通しについて教えていただきたい。

(市長)

本島診療所の林先生は平成年15年8月からずっと所長として務めていただいております。まして診療だけでなく、奥様が英語を教えてくれたり、いろんなことをしていただき本当にありがたかったが、年齢の関係もあり、来年3月末での退職を本人が希望された。かなりご無理をいって延ばしていただいた経過もあるので、これ以上無理は言いにくいというのが現状である。現在、後任の医師を探している。常勤のお医者さんを第一候補として考えており、お医者さんの関係の情報誌やインターネットを活用しての医師の募集をしている。それから地元の医師会や県内の医療機関など、様々なところに担当者が行き、後任の医師の紹介、募集情報の周知をお願いしている。県に僻地医療センターというのがあり、常勤医師でなくて代勤の医師を派遣をするという制度がある。以前、本島もそこを利用したことがあるが、これは常勤医師が見つからない場合の手段である。あくまでも常勤のお医者さんの確保の努力をしている。現時点で残念ながら決まっていないが、どのようなことがあっても医師の空白ということは避けようと考えているので、具体的な結論はもう少し待っていただきたい。

ご承知のように小中学校の生徒数も減り、小学校の改修も終わったので、小学校と中学校が一貫校ではなく、同じところに教室があるという形で運営できるのではないかと考えている。その場合、今おっしゃったように中学校の利用方法について、広島の例にならってコミュニティセンターそれから様々な公共的な機能を上手く統合したもので再利用できないかと考えている。具体的にはコミュニティの皆さんで相談してもらい、どのように利用するかということを考えてもらったらいいと思う。その際、診療所についても選択肢の中に入れていただき、結論を出してもらえればいいと思う。有効活用したいと考えている。

③有害鳥獣（ヌートリア、イノシシ）対策について

(男 性)

本島ではヌートリアによる農作物への被害が続いている。また、猪も数が増えているようで住民が見かけることが多くなっている。市や猟友会の捕獲箱や罠によって捕獲していますが減少している気配がない。現状の有効な対策について改めて考えを示していただきたい。

(市 長)

ヌートリアは平成 27 年度 106 頭、28 年度 70 頭、29 年度 45 頭を捕獲しております。捕獲箱を設置し捕獲しているが少し捕獲数が減少している。繁殖能力が高いため全部捕まえない限りは増えるため、残念ながらまだ有効な手立てがないが、捕獲箱の設置場所を検討したり、数を増やしたりして継続的に捕獲活動、少しでも増やさないとということでやってまいりたい。猪は去年の秋から猟友会にも手伝ってもらい、捕獲の檻やくくり罠を設置して昨年度で 3 頭、今年度 7 月末までで 9 頭捕獲をしているが、まだ目撃情報があるので、さらにくくり罠を購入して有効な捕獲、数を減らすように努めていきたいと考えている。人海戦術、捕獲箱などの数を増やして捕まえるという以外にはないので継続して取り組んでまいりたいので、ご協力をお願いしたい。

(本島市民センター所長)

ヌートリアの捕った数について、市長がおっしゃったのは補助金ベースの数でないかと思うので、実際センターで把握、捕獲した数は平成 28 年度が 135、平成 29 年度が 93、今年先週末の時点で 25 を捕っている。今日も朝 1 頭捕ってきている。それと猪については 9 頭、この 4 月からほぼ毎月捕れている。岡山などから泳いできているという話もあるので、数的には増えているのではないかと思っている。箱罠は一つしか設置していない。くくり罠が 28 ヶ所設置し、カメラは牛島を含めて 9 台設置している。週 1、2 回は必ず確認させていただき、確認して、農林水産課へ報告をしている。以上補足説明をさせていただく。

(男 性)

猪は芋が大変好きなようである。生ノ浜のほかの家もそうだが、芋畑が全滅している。注意してもどうしようもないが、そういう情報をお知らせしたいと思う。

(女 性)

猪だけでなくヌートリアも芋を食べる。この頃大きくなりたくさん出てきた。大浦の方にも増えてきている。

(本島市民センター所長)

有害鳥獣対策で山間地域では電気柵とか自分の土地にしているが、例えば島内で、希望者がいた場合、補助とかいうのはあるか。

(市長)

陸地部の方では電気柵を設置している人が多い。国の制度では何軒か以上必要という縛りがあるが、それでは山間部では設置が難しくなる。市単独で電気柵の補助制度がある。安い値段で設置できると思うので、農林水産課にご相談いただいたらいいと思う。多少の効果があるのではないか。

●自由討議

(1) 砂防ダムについて (治山ダム)

(男性)

7月の初めの大雨で本島も何箇所か土砂崩れ等があった。山西地区、小阪のお墓の上が崩れて通れなくなった。福田の端の方が崩れて県道が通れなくなり、どちらにも行けない状況になった。今県で土砂の状況などを見ているが、我々も日頃から危険箇所など細かいチェックが必要だったと思う。

今回、砂防ダムが崩れている所が結構ある。埋まってしまって砂防ダムがあまり役に立っていないのではないかと思う。砂防ダムでは溜まってきた土砂をかき出す等の整備は県の方でやっているのかどうか教えて欲しい。

(市長)

7月の豪雨災害の復旧については白井会長や岡田議員さんがいち早く知事に要望していただき、知事も直接来て現場を確認しできる限り対応していただいていると思う。砂防ダムについては県の考え方ということで県の方に尋ねて答えたいと思う。崩れるということはその辺の地形も変わるということなので状況により危険箇所も変わってくる。砂防ダムを浚渫したとしても災害が起きる可能性があるかもしれないので、おそらく新たな砂防ダムを作るのではないかと思う。島の場合土地の所有者の問題が難しい。全ての合意を取った上での工事は事実上不可能だと思う。できるだけ早い復旧を県へ要望しながら、市が対応する部分についても一生懸命やりたい。

(男性)

先程言われたように土地の所有者がわからないというのが実際にあった。土地の所有者が6人ほどおり、そのうちの3人は私の方で連絡して了解をもらえた。ところが残りの3人がわからなかった。固定資産税を払っている人がいると思う。ますよね、その人の名前や住所を教えてもらえないのか。

(市長)

全国で問題になっているので、その情報提供についてはやっていると思う。分かる範囲は調べて連絡したりしていると思う。それでも分からない場合がある。探さないという意味ではない。できる限り探すが、無理なケースが多い。県もその辺は理解した上でやるというようなことはおっしゃっていたので、できるだけ支障のないようにやりたいと思う。

(男性)

生ノ浜の砂防ダムについて砂防ダムは作ってでも後の管理ができてなく、荒れたためと一緒に崩れたのではないかと思う。今回崩れたから見えるようになったと思う。

(男性)

あの砂防ダムは40年ぐらい前にできたと思う。これまでは草木では見えなかった。

(市長)

砂防ダムの返事は県なので、後日お返事をするが、おそらく砂防ダムは後の管理はしないという考え方ではないかと思う。埋まりそうになれば次の対策ということで、新しいものを作るという風になっていると思う。今の時点での危険区域を考えてないといけない。

(2) 移住対策について

(男性)

空き家対策や移住対策について、テレビや新聞ではよく見るが現実にどんな優遇策や補助制度があるか、丸亀市のホームページで書いているのか分からないがよく理解できないので、見やすいようにホームページで書いていただければありがたい。

(市長)

移住については、ホームページの見やすいところに表示したい。優遇策・補助は、島に移住したい方が、住宅を借りる場合に、貸主が居住できるように改装する費用を補助する市単独の補助制度がある。また移住者には県と市が合同で家賃の一部補助もしている。家賃の一部を補助するという制度がございますのでそういうものを利用していただいて、皆さん方のお知り合いの中に空き家をお持ちの方がいればぜひ紹介いただきたい。

(離島振興室長 山田)

移住対策の補足説明だが、島の空き家を改修する際に市独自の補助金で改修している。昨年度は本島の尻浜で1軒改修し、男性の方が1名移住している。改修する際の補助金制度や家賃の一部を補助する制度について、現在市のホームページでも公開はしているが、今年度島専用のホームページを作成中である。制度や空き家情報を確認できるようなホームページにしたいと考えている。

(3) 所見房の今後について

(女 性)

所見坊の食堂がなくなった後はどうなるか、そのまま閉店になるのか。

(本島市民センター所長)

所見坊は綾歌町富熊の高木さんという方が引き続きしていただけるということで今話が進んでいると聞いている。

(女 性)

開けてくれたらまた賑やかになるかなと思う。

(市 長)

市としては、所見坊をできるだけ開けてもらわないと困る。高木さんがもしやってくれるのであれば、地元に住む方が多少お手伝いしていただけるとありがたいと思う。そうすることで本島のいいところをさらに伝えられると思うのでよろしくお願いします。

(離島振興室長 山田)

先程の説明に付け加えまして、高木さんは9月ぐらいから準備に取り掛かる予定で、市長がおっしゃったようにできれば島民の方に協力をいただき、食事の提供などもやっていきたい。まずは軽食なんかからでもとりかかっていたい。そういったように考えていると聞いている。

(4) ガードレール整備について

(男 性)

道路のガードレールが錆びてとても汚くなっている。市で対応してもらえないか。以前対応すると言われていたが、そのままになっている。

(市 長)

ガードレールの場所は原課の方で調べてもらい、適正に対応したいと思う。

(5) バスの運行について

(市長)

バス運行について何か要望はないか。今度瀬戸芸もあるが、今の運行の方法とかで何か困っているとか、変えて欲しいとかいう事は。

(男性)

今来ている人はほとんど乗ってないと思うが、回り方が午前と午後と違うので困っているという話を聞いている。例えば西地区からバスに乗車した場合、東に1周回するような運行をする。朝、港に行こうとすると以前は西地区から小阪を通り船着場まで行っていたのですぐ到着していた。あまり人が乗っていないので、ずっと乗っているという印象を受ける。瀬戸芸の時は乗っているかもしれないが、普段はあまり乗っていないのでコースが変わって何年か経ったので皆さんの意見を一度聞いた方がいいかもしれない。

(女性)

イルカが屋釜にいたので、コースが変更になったと聞いた。小阪の方は始発が早いから乗る人がいない。イルカもいないし、乗る人も少なくなっているので一度見直しをしてもいいのではないかなと思う。

(市長)

国の方もそういう土地については有償で自家用車を使って運送してもいいと言う方針が変わってきてある。例えば島の中でそういう取り決めをしてNPOを作り、島民を運搬し、実費をもらう。あるいは富山県では集落全体の路線バスがなくなったので年間1万円ぐらいの会費を全員が負担し、無料でお互いに乗り合わすという取り組みをしているところもある。島に合った交通体系というのを考えていただけるとありがたい。島のコミュニティバス運営費はあるので、そちらの補助に回せばより有効な交通の運行ができるのではないかなと考えている。ご意見を聞かせて欲しい。

(6) 本島診療所について

(市長)

診療所の先生のことでは何かご要望とかご意見ありますか。

(男性)

何人かに聞いたが、歳をとってくると足とか膝などが痛いという人が多い。島に診療科がないからどうしても丸亀に行って診察してもらっている。島の診療所にそういう科があれないうことを聞いている。

(市長)

医師免許はオールマイティで、整形外科を診れないということはないが、最近は診療科が分かれている。それから整形を診れるような機械などがないとダメだと思うので、お医者さんを探す際に頭に入れておきたい。先程の中学校の話でその設備を考える時には島に合ったようなものを考える必要があると思うので、またその時にご意見お願いしたい。元々岡山大学の病院だったと思うが、その頃は先生は交代して来ていたのですか。

(会長)

交代で先生が来ていた。

(女性)

何科の先生が何月に来るなど決めて来ていた。看護婦さんが本島の人でお医者さんよりしっかりしていたので、先生がいなくても点滴などもしてくれていた。岡山大学附属本島診療所ができたのは岡山県の三木知事さんが生ノ浜出身だったから作ってもらえた。

(市長)

常勤のお医者さんで探しているが、例えばそういう大学と話をして、それでその大学から準常勤みたいな形で派遣していただくという方法もあるのかなというのも考えている。

(女性)

林先生が地区の検診の時に島民が 300 人いなければ、先生が常勤にならないと言っていた。林先生は親切だったので、何でも聞くことができていた。

(市長)

島の医療体制や医療介護の問題を考えるひとつの機会になると思うので、皆さんのご意見を聞きたいと思う。よろしく願います。

(会長)

お医者さんはできるだけ常駐でお願いしたい。緊急の場合や亡くなった場合、死亡診断書はお医者さんがいなければ検死をしなければならない。警察が来るまで待つて、来てからも時間がとてもかかり大変である。

(市長)

島ルールを理解していただかないと、やっていけないと思うので、関係機関にもいろいろ

ると認めてもらうお願いはしようと思っている。常駐は寝泊りしてもらえるお医者さんを希望しているか。

(女 性)

どこまで可能かは別として、その方が安心する。

(市 長)

交代で人が代わるけど平日は泊まってくれるということであればどうか。

(女 性)

以前、平日は泊まって、土日に帰っていた。看護婦さんが本島の人だったので、先生がいないときでも 24 時間その人が対応してくれていた。

(市 長)

地元の看護師さんを確保することは可能か。

(男 性)

丸亀とか岡山の病院に勤められている方はいるが、島へ戻ってくるのはずいぶん先になるのではないかと思う。

(7) 笠島 水軍城について

(男 性)

笠島のところに昔の水軍城というのがある。県の文化財になっているが、そこへ上がるために木で階段のようなものを作っているが、とても急で、木が腐っている。ボロボロになって階段があってないような状態になり、前のセンター長が赤いポールを建てて危険だと表示してくれている。本当に危険である。子供とか年寄りが上がるのは難しい。専称寺から上がる反対側のところに橋があったのを撤去しているの、今は北側の道からしか上がれない。県の文化財になるから県に言った方がいいかもしれないし、階段は地元のボランティアで作ったという話も聞いているので、はっきりしない。文化財の巡視を仰せつかっているの、ときどき見に行くが、徐々に崩落していつている。どうにかならないか。

(市 長)

文化財に調べてまた返答したいと思う。上って石垣があるのか。

(男 性)

石垣はない。空堀と見張り台と古墳がある。

(市 長)

担当も含めて調べてみる。

(8) その他

(市長)

台風の関係ですけれども、今の19号はさほどでもないかと思うが、20号はちょっと気をつけていただきたい。どのような被害が起きるか想定しにくい。避難準備情報、避難勧告、避難指示というものがあるが、できれば避難準備情報が出されたときに、高齢の方などは避難することをあらかじめ考えておいて欲しい。避難準備情報はできるだけ明るいうちに出示しますのでお願いします。自分で自分の家の状況を見て判断しないと、市で1軒1軒に指示はできないので、ご協力をお願いしたい。